

# 「現場の悩み」に応える新商材を開発して

## 医療・福祉施設向け寝具レンタル事業を伸ばす。

### クリーニング事業の転機を予測し 新事業への進出を図る

「シガドライ」の商標は滋賀や京都の街角に多くの取次店を持つクリーニングチェーンとしてなじみ深い。今やシガドライ・ウィザースの事業の



天然ゴム素材を100%使用した体圧分散式マットレス「スーパーフレックス」

と起る床ずれで、血行不全から組織が壊死し、進行すれば患部が骨まで露出するなど深刻な症状にもつながる。

「病院で普及しているウレタンフォーム製マットレスより弾力性に富み、体圧を適度に分散できるマットレスがあれば、血行不全を防ぎ褥瘡予防につながるはず。さらに防水加工を施したラミネートで被覆することで、患者さんの嘔吐物や血液などで表面が汚れても、拭き取りが容易になり清潔さが保てる。そう考えて、床ずれと院内感染を防止できる画期的なマットレスとして、スーパーフレックスを世に出すことができた」。

こう話す田中社長は、病院寝具レンタル事業を始めた際、医療現場の「特殊事情」をいくつか見て驚いたという。「シーツを毎日洗濯交換する欧米に比べると、日本では週1回の取り換えが義務付けられているだけ。マットレスには洗濯する基準すら規定されていない。患者のベッド環境は感染の危険性に晒されている。さまざまな事情から、医療現場にはこのような「すき間」があり、それらを解消する寝具や消毒剤を生み出して提案できれば、患者さんに喜ばれるだけでなくビジネスチャンスにもつながると考えた」。

### 生産コストを抑えるため スリランカに製造拠点を開設

そんな背景から生まれたスーパーフレックス。ウレタンに比べて高価な天然ゴム製のマットレスの事業化を進めるには、「手頃な価格のレンタル料を設定する」ことが必要。そう考えた田中社長

柱は、病院や介護施設等にふとんやマットレス等の寝具リネン類をクリーニングレンタルするメデイカル事業と福祉関連事業だ。

1966年の創業以来、同社は時代に先駆けたチェン化や、即日仕上げのクイックサービスで成長の道をひた走ってきた。しかし、クリーニング



GZ-08で加工した、院内感染を防ぐ「感染予防衛生羽毛布団」



スリランカの天然ゴム加工工場

は大胆な行動に出た。98年にマットレス生産工場をスリランカに建設、生産コストを大幅に抑えることに成功したのだ。

「褥瘡や院内感染予防効果のほか地球環境保護への姿勢も評価されてか、スーパーフレックスは採用実績を着実に伸ばし、今では全国1600の医療機関や福祉施設、在宅介護の現場で使用されている」。

### ウイルスを不活性化させる 消毒剤「GZ-08」を開発

同社の売り上げの4割を支える大黒柱に育ったスーパーフレックス。それに並ぶ第二の柱にと田中社長が心血を注ぐ新商材がある。インフルエンザウイルスをはじめ広範囲な細菌やウイルスに驚異的な殺菌効果を持つという消毒剤「GZ-08」だ。

需要がピークに達した90年代以降は、消費の多様化や成熟化、自宅で洗えるカジュアル衣料の台頭などの影響で市場は縮小期に突入した。

同社はクリーニング事業にまだ勢いがあつた92年から病院寝具レンタル事業へ進出。「遠くない将来に団塊の世代が大量リタイアし、クリーニング需要が縮小することは予測できた。成長が望める新事業へタイミングを逃がさず軸足を移したことで、転機をうまく乗り越えられた」と田中秀彦社長は振り返る。

寝具レンタル事業でも長年にわたって磨き抜いたクリーニング技術は強みの一つになっている。しかも興味深いのは、医療や福祉の現場が抱える悩みに応えようと独自で開発したオリジナル商材を次々と打ち出している点だ。

### 床ずれと院内感染を防ぐため 体圧分散式マットレスを開発

「スーパーフレックス」はその代表格。100%天然ゴム素材の体圧分散式マットレスだ。このマットレスは褥瘡の予防と院内感染を防ぐために開発された。褥瘡とは同じ姿勢で寝たきりになる



細菌やウイルスに高い効果を持つ消毒剤「GZ-08」

「アルコールや次亜塩素酸に代わる消毒剤を目指し、必須ミネラルを主原料に消毒剤GZ-08を開発した。ノロウイルスやH5N1ウイルスなど多様なウイルスを不活化するとともに、O-157や緑膿菌などコントロールが難しい病原菌に対する殺菌力も高く、人体への影響が無いなど安全性も証明されている優れたものだ。GZ-08の機能をシーツやふとん、枕などの生地加工する技術も確立できた。医療・福祉施設向け寝具としての普及を目指すほか、スプレー剤やマスクといった応用商品の開発も進めている」。

田中社長の夢はGZ-08を活用したふとん、枕、マットレス、カーテンなどが、多くの医療・福祉施設に採用され、「よりよい患者の寝床環境」が全国に広まることだ。環境と感染をテーマにさらなるアイデアを展開するシガドライ・ウィザースの挑戦は続く。



Voice 代表取締役 田中 秀彦氏

当社は2012年、ドバイ王族系の投資会社(ロイヤル・エミレーツグループ)と事業包括基本契約を締結。GZ-08等の自社製品販売だけでなく、先端医療技術や環境技術等の売り込み窓口にもなっています。昨年は愛知県藤田保健衛生大学とUAEの病院との提携を仲介しました。ドバイや中東進出をご検討の方にお力添えできるでしょう。

Profile 株式会社シガドライ・ウィザース



- <http://www.shigadry.com/>
- 本社/彦根市南川瀬町1547
  - 設立/1966年
  - 資本金/2,000万円
  - 従業員数/80名
  - 事業内容/医療用寝具設備・関連商品のレンタル及びメンテナンス、在宅介護関連・福祉用具貸与事業、感染・褥瘡予防マットレス「スーパーフレックス」の製造・レンタル、一般ホームクリーニング、消毒剤「GZ-08」を活用した商品の開発と販売など